

使いかた

モードボタン

押すたびにモードが切り換わります。押すたびに「ピッ」・「ピッ」と鳴ります。

モード

連続 点灯「ピッ」 リズム 点灯「ピッ」 おやすみ 点灯「ピッ」

電源切/入 風量ボタン

押すたびに風量が切り換わります。押すたびに「ピッ」・「ピッ」と鳴ります。

風量

ゆるやか 弱 中 強 電源切

タイマーボタン

押すたびにタイマー時間が1時間から6時間まで切り換わります。設定時間になると運転を停止します。押すたびに「ピッ」・「ピッ」と鳴ります。

タイマー

1 ● 2 ● 4 ● 6 ● 時間

電源 風量

モード 首振り

My Fresh TLF-RM310

「リズム」風量パターン

風量ボタンの切り換えによって、次のパターンになります。

約90秒

「おやすみ」風量パターン

風量ボタンの切り換えによって、次のパターンになります。

約90秒

お手入れのしかた

前ガードのはずしかた

- クリップをはずし、上側をささえ、カードリングの下側を引っぱり、両手ではずす。

羽根・本体

ぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布でふき取り、からぶきをします。乾いた布で強くこすらないでください。(表面に傷がつくのを防ぐため)

お願い

- ベンジン・シンナー・クレンザー・アルカリ性洗剤を使わないでください。(変質・変色の原因)
- 運転停止後のお手入れは、モーター軸が熱くなっていますので、直接さわらないでください。
- お手入れの際、羽根・ガードなどに強い衝撃を与えないでください。

収納のしかた

■ モーター軸

汚れを取ってからミシン油を塗り、チューブを取り付けます。

故障かな?と思ったとき

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと
羽根が回らない	●電源プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●羽根とガードがあたっていないですか。
羽根がときどきとまる	●「弱」「ゆるやか」リズム風ではありませんか。 「弱」「ゆるやか」リズム風は運転と停止を繰り返しているため、ときおり羽根が止まることがあります。異常ではありません。
羽根は回るが音がする	●羽根はしっかりと取り付けられていますか。 ●ガードはしっかりと取り付けられていますか。 ●羽根とガードがあたっていないですか。 ●受光部に向けて操作していますか。 ●電池が消耗していませんか。 ●電池の入れかた(⊕⊖の方向)が間違っていないですか。
リモコンで操作できない	●電源プラグを抜いて差し直してください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示

【製造年】2019年
【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発煙・火災・けが等の事故に至るおそれがあります。

■ 設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。

■ 標準使用条件

日本工業規格 (JIS C9921-1) による

電源条件	電圧 100V 周波数 50Hz/60Hz 温度 30℃ 湿度 65%	規定時間等	1日あたりの使用時間 8 (時間/日) 1日使用回数 5 (回/日) 1年間の使用日数 110 (日/年) スイッチ操作回数 550 (回/年) 連続運転の割合 100%
負荷条件	標準設置* 定格負荷 (風速)*	*：製品の取扱説明書による	

●環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としています。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、10年より短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

仕様

電 圧	交流 100V 50 / 60Hz 共用	
消 費 電 力	50Hz 37W 60Hz 43W	
風 速	50Hz 133m/min 60Hz 136m/min	
風 量	50Hz 33m ³ /min 60Hz 36m ³ /min	
質 量	2.8kg	
首 振 り 角 度	左右合計約70°	
電源コードの長さ	1.6m	
外 形 寸 法	高さ 490×幅 360×奥行 330mm	

- 風量が「強」のときの値です。
- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エルイトレーディングサポートセンター

受付時間：365日 9:00~20:00
携帯電話・IP電話など 050-3786-0488 (通話料：有料)
FAX 03-3258-0470 (通話料：有料)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (一体)

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

修理を依頼されるときは

- 7ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。
技術料 故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代 修理に使用した部品代金です。

長年ご使用の扇風機の点検をぜひ!

愛情点検

このような症状はありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根を手で回すと回りだす。
- 回転が遅い、または回転が不規則。
- こげくさい臭いがする。
- モーター部が異常に熱い。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中

モーターなどの焼損を防ぐため、すぐに電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

壁掛け扇風機保証書

[持込修理]			
形名	TLF-30R22		
お名前	様		
お客様住所	〒□□□-□□□□		
市外	市	番	呼
電	1年	★お買い上げ日	
保	年	月	日
本	住所・店名		
体	電話		

東芝エルイトレーディング株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-8 (東芝万世ビル)

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただきますことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

(ト) 一般家庭用以外 (たとえば業務用など) に使用された場合の故障、損傷。

2.出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

3.修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

4.本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

5.ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、東芝エルイトレーディングサポートセンターへご相談ください。

東芝エルイトレーディングサポートセンター

受付時間：365日 9:00~20:00
携帯電話・IP電話など 050-3786-0488 (通話料：有料)
FAX 03-3258-0470 (通話料：有料)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきますので、ご了承ください。

・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

東芝エルイトレーディング株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-8 (東芝万世ビル)

家庭用 壁掛け扇風機 (30cm) 取扱説明書

形名 TLF-30R22

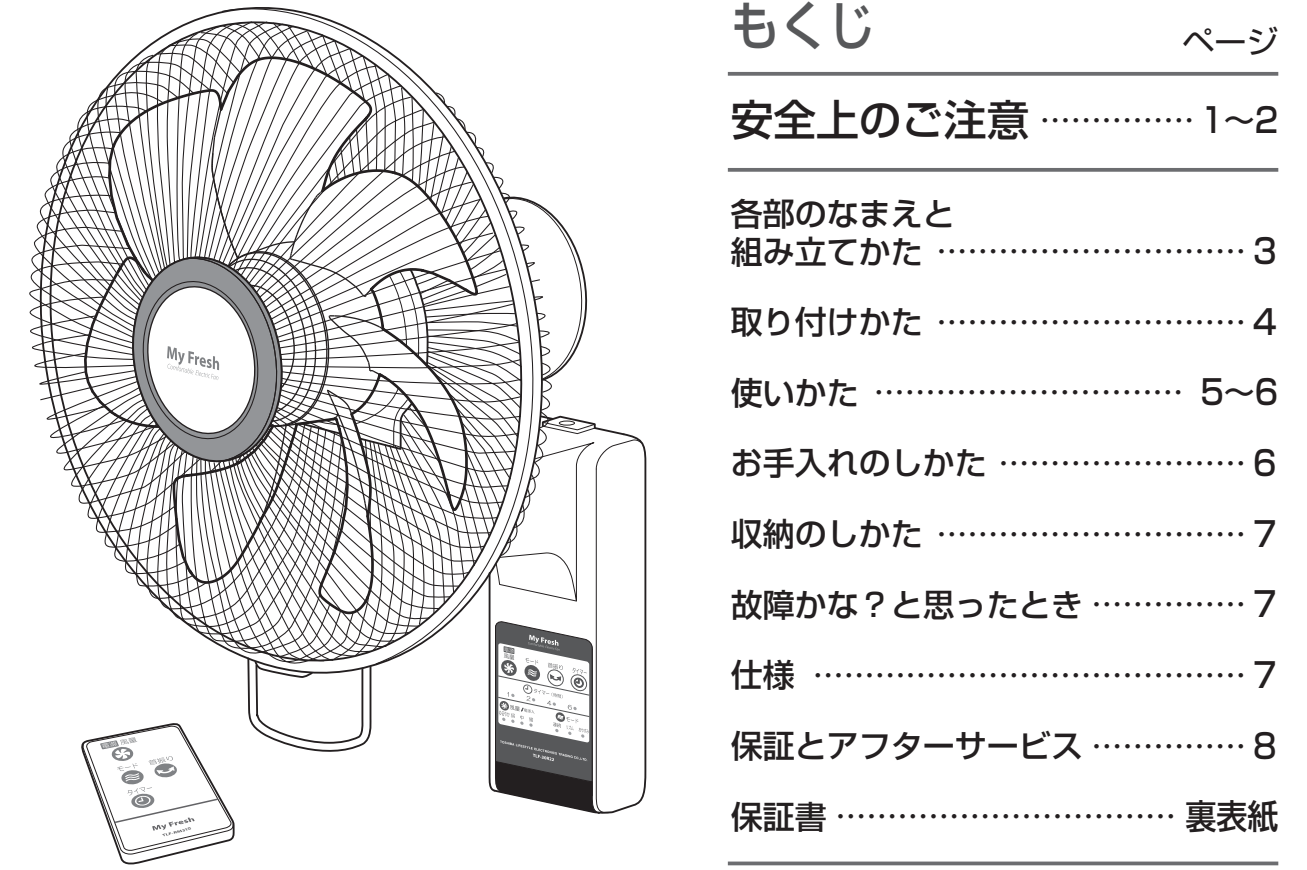
- このたびは壁掛け扇風機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

保証書付

- 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

もくじ ページ











安全上のご注意	1~2
各部のなまえと組み立てかた	3
取り付けかた	4
使いかた	5~6
お手入れのしかた	6
収納のしかた	7
故障かな?と思ったとき	7
仕様	7
保証とアフターサービス	8
保証書	裏表紙












安全上のご注意 必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

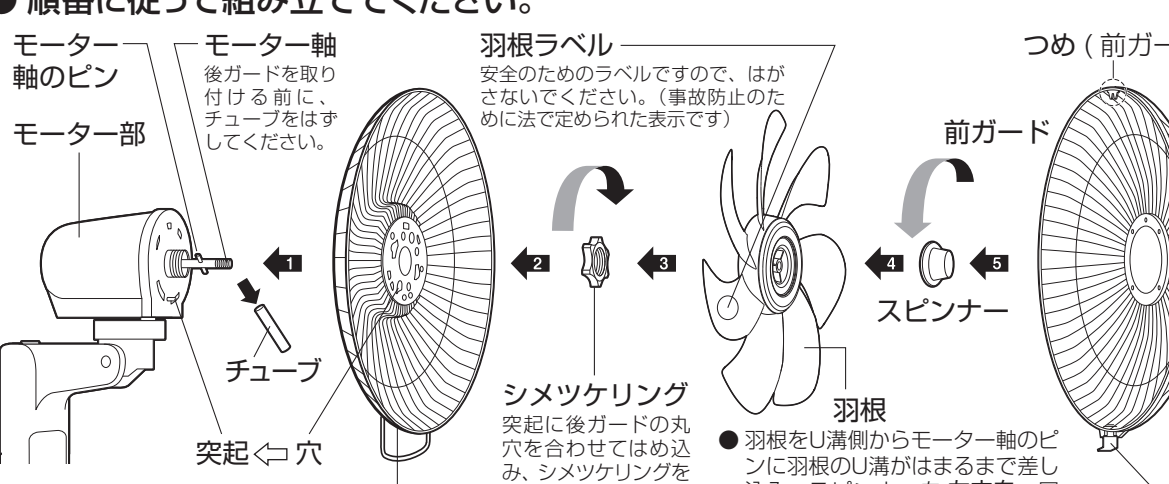
表示の説明	
警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。
注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。
* 1: 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療入院・長期の通院を要するものをさします。	
* 2: 軽傷とは、治療入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。	
* 3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。	

警告	
	分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 高電圧発生装置（機器）を内蔵しています。修理はお買い上げの販売店または東芝エレクトロニクスサポートセンターにご相談ください。
	組み立てのときは、電源プラグを入れない 感電・けがの原因になります。
	羽根・ガードをつけずに運転しない けがの原因になります。
	電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
	お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く また、ぬれた手で抜き差ししない 感電・けがの原因になります。
	電源は交流100Vのコンセントを使う 交流100V以外を使うと火災・感電の原因になります。
	水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源プラグのほこりなどは、定期的に取り取る プラグにほこりがたまると湿気などで、絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

警告	
	本体の取り付けは充分強度のあるところを選ぶ 落下によりけがの原因になります。取り付ける壁面は、厚さ10mm以上の板、または裏面に柱などのあるところを選んでください。また、天井には取り付けないでください。
	組み立てはシメツケリング・スピナーをしっかりと締める 締め付けが不十分な場合は、部品がはずれてけがの原因になります。
	リチウム電池は幼児に触れさせないこと（ボタン電池の場合） 守らないと、発熱・破裂・発火・液漏れしてやけど・けが、または中毒の原因となります。
注意	
	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショート・発火の原因になります。
	使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
	本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する 羽根やガードがはずれて落下し、けがの原因になります。
	風を長時間、からだにあてない 健康を害することがあります。
	電池を取り扱うときは、次のことを守る ・指定以外の電池は使用しない ・充電・加熱・分解・ショートしない ・落下などの強い衝撃を与えない ・⊕と⊖を逆に使用しない ・水にぬらさない、ぬれた手で触れない ・火のそばや燃焼機器の近くで使用しない ・電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎた電池を使用しない
	取り扱いを誤ると、液もれ、過熱、破裂、火災、やけどの原因になります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないようにふき取ってください。長時間使わないときは電池を取り出す。

各部のなまえと組み立てかた

● 順番に従って組み立ててください。



● 順番に従って組み立ててください。

● 羽根をU溝側からモーター軸のピンに羽根のU溝がはまるまで差し込み、スピナーを左方向へ回し、しっかりと締め付けます。
● 締め付け後は手で羽根が回ることを確認してください。

付属品

- リモコンホルダー
- リモコン
- コイン形リチウム電池 (CR2032・1個)
- リモコンホルダー用ねじ (2本:φ4.0×14L)
- 壁掛金具用ねじ (2本:φ4.0×25L)
- 壁掛金具

前ガードの取り付け

- 前ガードの爪の部分を後ガードに合わせはめ込みます。
- 両手で前ガードを後ガードの外周にかぶせようにはめ込みます。
- クリップを強く押し込み固定します。

取り付け後は前ガードがはずれないか確認してください。

リモコン電池の入れかた

1. ふたをあける。
2. 電池を入れ(⊕⊖を正しく)、ふたをさす。

お願い

- 長時間使わないときは電池を取り出してください。(液もれによる故障を防ぎます)
- 充電式(Ni-Cd)電池は使わないでください。
- 電池は工場出荷時に同梱されていますので、寿命が1年以下の場合があります。
- ⊕⊖を正しく入れて下さい。
- 充電、ショート、分解、火への投入・加熱はしないでください。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふきとってから新しい電池を入れてください。

取り付けかた

注意

● 取り付ける壁面は厚さ10mm以上の板または裏面に柱などのあるところを選ぶ
強度が不足すると、落下して、けがの原因になります。

本体の取り付け

壁掛金具を取り付ける

垂直な壁面にねじ2本(25L)でまっすぐ確実に固定します。

40cm以上はなす。
25cm以上はなす。
ねじ2本(25L)

本体を取り付ける

裏面の壁掛用金具を壁掛金具の穴に差し込みます。

壁掛用金具
スタンド裏面
壁掛金具

リモコンの取り付け

リモコンホルダーを取り付ける

柱や壁にねじ2本(14L)でリモコンホルダーを取り付けます。

リモコンホルダー
ねじ2本(14L)

リモコンを差し込む

リモコンを使用しないときなどは、リモコンホルダーに収納してください。

リモコン
リモコンホルダー

使いかた(リモコン・操作パネル)

リモコン

- 電源切/入風量ボタン
- モードボタン
- タイマーボタン
- 送信部(前面)
- 首振りボタン

本体

- 前ガード
- 羽根
- ガードリング
- モーター部
- 電源プラグ
- 電源コード
- 後ガード
- スタンド
- リモコン受信部
- 操作パネル

リモコンの受信範囲

リモコンを受信部に向けて操作します。操作可能距離は正面から約5m、左右に約30°以内です。操作しにくくなった場合は乾電池を交換してください。

受信部
リモコン
送信部
受信部

お願い

- リモコン受信部に対し正面から操作してください。(受信感度が下がるため)
- 本体の受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。(リモコン操作しにくい場合があります)
- リモコン受信部をかくさないでください。(リモコン操作ができません)
- リモコンに液状のものをかけたり、リモコンを落としたり、踏まないでください。(故障の原因)

本体操作パネル

電源切/入風量ボタン
モード
首振り
タイマー
風量表示

押すたびに風量が切り替わります。押すたびに「ピッ」「ピッ」と鳴ります。

電源切
モード
首振り
タイマー
風量/電源入
モード

風量表示
モード表示部
リモコン受信部

風向調節

左右調節
ガードを持って左・右に動かします。左・右には約20°動かせます。

上下調節
スタンドを片手で押え、ガードを持って上・下にゆっくり動かします。

水平
約40°